美保地区における学校跡地の利活用に関する サウンディング型市場調査 実施結果の概要について

1 サウンディング型市場調査とは

サウンディング型市場調査とは、民間事業者から事業に対するアイデアを募集し、直接対話を行うことで、民間活力導入の可能性や市場性等を把握するための調査です。

義務教育学校の設立に伴い閉校する4校の土地・建物については、民間事業者による利活用を前提に検討することとしており、その可能性をはかるためにサウンディング型市場調査を実施しました。(本調査は利活用事業者を決定するものではありません。)

2 対象施設

学校名	所在地	敷地面積
大篠津小学校	米子市大篠津町 190 番地	約14,686 m ²
和田小学校	米子市和田町 3271 番地	約16,144 m ²
崎津小学校	米子市大崎3244番地	約14,099 m ²
美保中学校	米子市大篠津町3657 番地の 1	約32,276 m ²

※美保中学校については、隣接する旧美保学園跡地を含めた一体的な利活用アイデアとして提案とすることも可能とした。[参考：旧美保学園跡地面積（総面積：50,758m²）]

3 調査日程

項目	期日（期間）
実施要領の公表	令和6年1月9日（火）
提案受付期間	令和6年1月9日（火）～ 5月31日（金）

※質問受付、個別対話の実施期間については、提案受付期間と同様の期間とした。

4 調査結果

(1)参加事業者数

項目	事業者数（提案事業数）
提案事業者数	3 事業者
提案事業数	5 事業

(2)提案の概要

学校名	提案番号	提案概要
大篠津小学校	提案 1	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢、障がいの有無に関係なく、誰もが安心して活動できる「健康」、「食事」、「教育」、「就労」、「防災」機能を有するフィットネスジム等の複合施設 [付随機能] <ul style="list-style-type: none"> ・地域食堂 ・障がい児を対象とした「放課後デイサービス」と交流できるインクルーシブな学童保育 ・障がい者の就労支援施設 ・福祉避難所機能 など
	提案 2	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽専門学校を主としたにぎわい拠点施設 [付随機能] <ul style="list-style-type: none"> ・交流スペース等の地域開放型の施設 ・避難所機能 など
崎津小学校	提案 3	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の入居施設を主とした地域福祉の拠点施設 [付随機能] <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校と連携したインクルーシブ教育 ・福祉相談窓口や人材育成等の地域福祉の拠点機能 ・避難所機能 など
美保中学校	提案 4	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事を退職した市内外の元気な高齢者が終身快適に暮らすために必要な機能を有した、住居を主とした複合施設 [付随機能] <ul style="list-style-type: none"> ・居住者、地域住民が活用できる交流拠点 ・フィットネスジム ・避難所機能 など
	提案 5	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の入居施設を主とした地域福祉の拠点施設 [付随機能] <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校と連携したインクルーシブ教育 ・福祉相談窓口や人材育成等の地域福祉の拠点機能 ・避難所機能 など

5 調査結果を踏まえた今後の方針

今回の調査により民間事業者の利活用の意向を把握することができました。本調査は、利活用事業者を決定するものではありませんが、今後いただいた提案から想定される課題を整理し、地域の活性化に資する利活用方法や公募条件の検討を進めていきます。